

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校 学校関係者評価報告書

令和 3 年度

実施日 令和 4 年 5 月 6 日

※令和 3 年度学校自己評価（基準日：令和 4 年 5 月 1 日）をもとに評価実施

令和3年度 学校関係者評価報告書について

学校法人高橋学園専門学校東京 CPA 会計学院熊本校は、すべての教育活動・学校運営業務において、現状を客観的に確認しながら評価し、改善向上を図るため学校自己評価を実施しています。この度、令和元年度より、教育・学校運営に反映すべく学校関係者評価を実施しました。本年度からは学校自己評価及び学校関係者評価を毎年実施してまいります。

本校に関係の深い方々のご意見を広くお聞きし、その際にいただいた多くの貴重なご意見は、その後の施策に反映させていただき、あらためて学校評価の重要性を認識しているところです。

この度は、卒業生・会計関連業界団体の皆様や会計・教育等に見識をお持ちの方々に令和3年度学校自己評価の結果をお示しし、ご意見をいただきましたので、ここにご報告させていただきます。

今後もより信頼され開かれる学校を目指すべく、教職員一同、一層努力して参る所存です。引き続きご支援、ご指導の程何卒よろしくお願い申し上げます。

令和4年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京 CPA 会計学院熊本校

校長・学校評価委員会委員長

真開 純洋

学校関係者評価の実施方法と今後の取り組み

【評価委員】

学校教育法並びに学校教育法施行規則の規定とともに、文部科学省、熊本県ほか関係行政機関の指導・ガイドラインをふまえ、卒業生3名の方々に評価委員をお願いいたしました。

【評価方法】

学校関係者評価委員の方々に、令和4年5月6日にご参集いただき、令和3年度学校自己評価報告書の点検項目に沿ってご質問、ご意見をいただきました。

【報告書】

いただいたご意見等を学校長以下教職員で組織する学校評価委員会で承り、要旨を本報告書にとりまとめました。令和3年度学校自己評価報告書と併せてお読みください。

【報告書の構成】

本報告書は以下のとおり記述しています。

- 学校自己評価報告書の評価基準・点検項目
- 評価者の意見・質問
- 質問・指摘の場合は本校の回答

【今後の取り組み】

ご意見は、次年度以降の、教育課程編成、各種計画などを立案する際、十分に考慮し、可能な項目より実現に向けて取り組んで参ります。

専門学校東京 CPA 会計学院 学校評価委員会

学校関係者評価者ご紹介（敬称略）

【卒業生】【関連業界団体・企業】

税理士法人近代経営 山元 佑太

税理士法人さくら優和パートナーズ 杉山 亜夢里

株式会社カネリョウ海藻 宮崎 康太

◆学校関係者評価者が所属する企業・団体の詳細は公式サイトをご参照ください

税理士法人近代経営 <https://kinkei-net.com/>

税理士法人さくら優和パートナーズ <https://syp-ac.com/>

株式会社カネリョウ海藻 <https://www.kaneryo.co.jp/>

基準1 教育理念・目的・育成人材像

点検項目【1-01～05】理念・目的・育成人材像

評価者意見・質疑

□開校以来変わらず、高い専門性のある会計税務の指導が深くまで行われており、この中心となる部分は、今後も継続してご指導いただきたい。しかし同時に、専門性が高くなるにつれて視点が狭くなりがちなので、会計税務の学習はもちろん、それに加えて様々な経験をしてほしいとも感じる。なかなか学生のうちから身に着けることは難しい部分があるのも理解できるが、この分野の仕事では、専門的な内容をかみ砕いて、わかりやすく説明することが求められるため、そうしたコミュニケーション能力も培ってほしい。

□CPAの学習課程を通して、考える力が養われていることは、仕事において非常に役に立つので、今後も継続して指導に当たっていただきたい。ただし、学習したことがそのまま実務で正解となるのではなく、会社や業種・業態・規模などに即した会計処理が重要だということも理解して欲しい。実務に就いている卒業生等の講演を増やすことにより、どのような学びが実務で活かされるかを知ることができ、学習意欲の向上に繋がるのではないかと思う。

□経理本科に在籍している学生にも税理士業界に進む学生も多いと聞く。最低限の税法の学習は行われているが、もう少しより具体的な税務について学ぶ必要があると思う。

学校からの回答

□ご指摘いただいた課題を認識し、今後は、授業やワークショップ等を通じ、コミュニケーション能力の向上にも可能な限り取り組んでいきたい。また、卒業生等の講演を増やすことも検討し、より実務意識が高くなるように学生指導を検討したい。経理本科が税務についてより具体的に学んだ方がいいというご指摘については、税務検定の指導を強化していきたい。

基準2 学校運営

点検項目【2-06】運営方針

評価者意見・質疑

□働き方改革が叫ばれている中、時代に合わせた勤務形態等を模索し、柔軟に対応していくべきであると感じる。

学校からの回答

□コロナ禍で多様な勤務形態が認められるようになった。今後は、CPAでもオンラインや在宅勤務等を参考にして、検討していく考えである。

点検項目【2-07】事業計画

点検項目【2-08】運営組織

点検項目【2-09】人事・給与制度

点検項目【2-10】意思決定システム

点検項目【2-11】コンプライアンス体制

点検項目【2-12】情報公開

点検項目【2-13】情報システム

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準3 教育活動

点検項目【3-14~19】目標の設定

評価者意見・質疑

□試験への傾向対応は当然として、税法や会計基準の改正ごとにより深く勉強し、講師自身で知識をアップデートしていることは非常に素晴らしいことである。

□検定取得ではなく、簿記を土台として社会で役に立つ専門性の習得を目指すCPAの目標は非常に良いものだと思う。ただし、2年間という制限された時間の中で、日商1級などの資格取得時期が遅れる人もいると思われるので、配慮が必要と思う。

□業種問わず、パソコンのスキルは必須である。特に、Excel や Word などのソフトウェアの利用スキルは実務では必須であるため、専門性をさらに活かすためにもやや高いレベルまで学習したほうがより強い武器になると思う。

学校からの回答

□定められた2年間のカリキュラムの中で、どうしても学習進捗に差が生じる実態があるが、随時、個別指導を取り入れ、学生一人ひとりに即した指導を行うことで、目標達成のモチベーション維持に努めている。また、資格取得時期の遅延は近年の課題であるため、より指導を強化していきたい。

□パソコンのスキルについては、今年度より検定を導入する予定であり、さらに実務でより求められる Excel を中心にレベルを上げることを検討している。

点検項目【3-20~21】教育方法・評価等

評価者意見・質疑

□在校生全員からのアンケートを年2回ほど実施されているようだが、学生の声も学科指導に反映でき、良いことだと思う。授業改善につながる適切な意見も出ているということで、アンケートが正しく機能していると評価できる。今後も方法等を検討・改善しながら継続していただきたい。

学校からの回答

専門学校にとって、授業の質は命であるため、アンケート結果を真摯に受け止め、必要に応じて教員等と面談を行い、指導方法等の改善に努める。

点検項目【3-22】成績評価・単位認定等

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【3-23～26】資格取得等の指導体制

評価者意見・質疑

学生への個別指導の手厚さがCPAの魅力だと思う。学生の習得レベルに応じた個別指導は、学生も安心して取り組める環境になっていると思うので、今後もしっかりと対応してほしいと思う。しかし、対応できる教員の数にも限りがあるとのことで、教員数の確保が課題だと思われる。また、会社経験のある講師が一人でもいれば、就職等の相談もしやすいのではないかと思う。

学校からの回答

教員数の確保については、学校としても課題と考えている。しかし、教員の確保にはより慎重さが求められるので、多少の時間がかかっても、可能な限り優秀な人材を登用していきたいと考えている。

点検項目【3-27】教員研修等

評価者意見・質疑

コロナ禍ではあるため、対面での参加は難しいと思われるが、オンラインの研修会等も盛んに行われてきているので、それらの活用も視野にいれて研修を充実させると良いと思う。また、資格取得や研修会等への参加費を学校側が負担するなどの福利厚生の実施も必要だと思う。

学校からの回答

CPAの講師は簿記会計の専門分野はもとより、教育者として必要な素養について、自己研鑽を主としている。しかし当然、必要な研修等あれば参加させる方針である。また、今後は外部講師招聘や、オンライン研修等も含めて研修の機会を増やしていきたい。

基準4 学修成果

点検項目【4-28~32】就職率・資格取得率等

評価者意見・質疑

□就職率100%というのは評価できるものの、特に、第1希望となる企業への就職率の調査が必要だと思う。また、離職者数や、離職原因についてもフィードバックし、就職指導・学生指導につなげることが望ましいと思う。

□以前に比べると資格取得率は低下していると思うが、基礎学力の低下なども要因だと思われるので難しい問題である。引き続き対応を模索していただきたい。

学校からの回答

□第一希望に沿った就職に向けて当然、学校として取り組んでいきたい。また、卒業後の早期離職については深刻な問題だと認識している。そういう事例が生じた場合、できる限り状況を把握し、対処していきたい。

点検項目【4-30】退学率の低減

評価者意見・質疑

□出席率が高い点と、退学率が低い点は学校側の努力の成果だと思う。しかし、一般的に退学者が以前より増えていると聞く。メンタル面のケアは、学校としての問題というより、社会全体の課題である。

学校からの回答

□メンタル面のケアについては重要な課題と捉えている。日頃より学生のメンタルヘルス不調の変化などに十分留意して、変化を把握できる体制を構築するとともに、教職員の意識の向上に努めていきたい。

点検項目【4-31~32】卒業生の社会的評価

評価者意見・質疑

□卒業生と学校が関わる機会を増やし、情報収集を行う方向で検討することが望ましい。また、定期的に卒業生講演などを通じて学生との交流も取り入れれば、企業側にとっても人材募集に繋がり、同時に学校側にとっても、活躍の報告や、現場での声を聞くことができ、双方にメリットがあると思われる。

学校からの回答

□学校として、機会あるごとに、卒業生との交流の機会を持てるように取り組んでいきたい。

基準5 学生支援

点検項目【5-33】就職等進路

評価者意見・質疑

- 簿記会計・税務の知識といった専門性を武器にしつつ、外部の会計事務所等との連携が必要であると思う。
- 毎年採用実績のある企業や事務所などに頼りきりにならず、学生自身がどこでも就職できるレベルのスキルを身に着ける必要があると感じる。

学校からの回答

- 講習会等を企画し、より会計事務所等との連携に向けての取り組みを検討していく。

点検項目【5-34】学生相談

評価者意見・質疑

- メンタルケアは非常に重要な課題であり、カウンセラーや医療機関等との提携も視野に今後は対策を考えたほうが良いと思う。定期的に面談を行っている点は評価できる。今後も、今以上に相談しやすい環境づくりを行っていただきたい。

学校からの回答

- 必要に応じてカウンセラーの活用を勧めている。今後とも、カウンセラーや医療機関等との連携については密に取り組んでいきたい。

点検項目【5-35~38】学生生活

評価者意見・質疑

- 県外からの学生も増えている中で、毎年、提携寮の枠を確保できていることは学生・親ともに安心できると思う。朝晩2食の食事付きで勉学に打ち込める時間が多いことも、CPAでの学習が有意義なものとなるのではないだろうか。

学校からの回答

- 引き続き、提携寮の確保に努めていきたい。

点検項目【5-39】保護者との連携

この項目は、ご意見がありませんでした。

点検項目【5-40～43】卒業生の支援、社会との連携等

評価者意見・質疑

□昨今、「学び直し」がブームとなっている。CPAでも、卒業生支援の一環として、オンライン配信を中心にやってみてはどうか。また、卒業後に知識不足を感じることも多々あるため、必要な講座を作ってもらいたいと思う。

学校からの回答

□税理士講座については、オンラインで配信しているため、周知を図っていく。

基準6 教育環境

点検項目【6-44】施設・設備等

評価者意見・質疑

□校舎のメンテナンスも行き届いているように感じた。今後も校舎をきれいに保つためにも掃除時間の有効活用が必要である。

学校からの回答

□学生の協力を得ながら、引き続き施設・設備等の充実に努めていく。

点検項目【6-45】学外実習・インターンシップ等

評価者意見・質疑

□インターンシップを受け入れている企業も多いと思うので、早い段階からインターンシップをさせたほうがいいのではないかと。インターンシップを行うことにより、学習意欲の向上や離職率の減少といった様々なメリットが得られると思うため、学校側から促していただきたい。

学校からの回答

□インターンシップの利点については承知しているが、一方、運用上の課題もあり、必ずしも利点ばかりではないので憂慮されることもあり、当校としては慎重に検討していく。

点検項目【6-46】防災・安全管理

この項目は、ご意見がありませんでした。

基準7 学生の募集と受け入れ

点検項目【7-47~49】学生募集活動

評価者意見・質疑

□簿記や経理という言葉がどうしても地味なものとして認識される傾向にあるため、高校生への情報提供をどのように行っていくかというのが課題であると思う（業界全体の課題ともいえるが）。その上で、簿記を活かした職業の待遇などをアピールしていくのが良いのではないか。

学校からの回答

□世の中の経理の印象を覆すことを前提として、会計業界の魅力の発信を工夫していきたい。現代の若者に合ったアピールを考えていきたい。

点検項目【7-50】学生学納金

評価者意見・質疑

□物価上昇が進む状況の中で、今までよりもコストが増えていくことは確実であるものと考えられる。そのため、学納金に反映させる必要があると思われる。特に卒業後に税理士試験を受験する学生への授業料が安すぎるようにも感じる。

学校からの回答

□現在、学納金については妥当であると思う。今後も引き続き、いろいろな角度から慎重に検討して参りたい。

基準8 財務

点検項目【8-51】財務基盤

評価者意見・質疑

□長期的な視野を持って学生募集を頑張っていたきたい。母校ということもあるため、CPAの今後の永続と繁栄を期待している。

学校からの回答

□充実した教育活動を維持するためには、当然、学生数の確保は必要不可欠である。今後とも引き続き、財務基盤の安定に向けて、努力していきたい。

点検項目【8-52】予算・収支計画

点検項目【8-53】監査

点検項目【8-54】財務情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 9 法令等の遵守

点検項目【9-55】関係法令、設置基準等の遵守

点検項目【9-56】個人情報保護

点検項目【9-57】学校評価

点検項目【9-58】教育情報の公開

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 10 社会貢献・地域貢献

点検項目【10-59】社会貢献・地域貢献

点検項目【10-60】ボランティア活動

点検項目【10-59】公開講座・教育訓練

これらの項目は、ご意見がありませんでした。

基準 11 国際交流

点検項目【11-62～65】国際交流

この項目は、ご意見がありませんでした。